

委員および一般からのご意見

委員からの流域委員会の審議に関する意見、指摘

2003/03/27

谷田委員（環境・利用部会 / 自然環境班）

< 環境・利用部会の運営について >

環境・利用の全体部会が必要でしょうか？まずはサブ・グループでしっかりと議論することが肝要では。

2003/03/31

水山委員（治水部会）

「提言」は、河川管理のある意味で理想を述べている。したがって、全てを計画に盛り込む事には無理がある。整備計画では、30年後？にどのような姿の河川を目指すのか（目標）を示し、国土交通省として出来る事の計画を示すべき。現行法律上問題のあるもの、他省庁との調整が必要があるものは区別して示す。予算その他の制約の前提を示して計画を議論する。その結果として、治水では、堤防、ダム、その他の対策の組み合わせが決まってくる。期限付きでダムを建設、使用し将来撤去することもありうる。そのようなダムの形式も考えるべき。

超過洪水の議論は、目標のところで整理する。

「提言」からスタートして「整備計画」に反映されているかという現在の委員会の方法は適当でない。「整備計画」の具体的提示が先。

2003/04/09

渡辺委員（環境・利用部会 / 利用班）

（ダムのあり方）に関して

3月12日の朝日新聞の朝刊の紙面で、「国土交通省は淀川流域委員会の提言を踏まえ、整備計画を7月ごろまでにまとめる予定」とあり、その中で村井河川調査官は「提言は真摯に受け止めるが『脱ダム』ではなく、あくまで制限であって、必要なダムはある。」とされていますが、流域委員会の提言の内容は確かに『脱ダム』ではありませんが、「必要なダムはある」とは、将来的に一般論として言われたのか、それとも現在計画中、進行中のダムを指して言われたのか、お尋ねいたします。

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2003/3/26～2003/4/15）

前回の委員会までに 358 件のご意見を掲載しました。それ以降、6 件のご意見が寄せられました。

	発言者 所属等	受取日	内 容
359	阪神大震災の教訓を 忘れず、市民のため の防災のあり方を考 える会 代表 志岐常正氏	03/03/27	淀川工事事務所（現淀川河川事務所）、琵琶湖工事事務所（現琵琶湖河川事務所）あてに出され た「天ヶ瀬ダム再開発事業」が委員会にも寄せられました。 別紙 P.359-1 を参照下さい。
360	前田益見氏	03/03/29	淀川水系流域委員会についておたずねが寄せられました。 別紙 P.360-1 を参照下さい。
361	関西のダムと水道を 考える会 野村東洋夫氏	03/03/30	尼崎市営工業用水道の阪神水道への転用についてご意見が寄せられました。 別紙 P.361-1 を参照下さい。
362	日本野鳥野会 橋本正弘氏	03/04/09	「河川敷は貸せん？」という毎日新聞 4 月 7 日夕刊の記事 には憤りを感じます。副題は「生態保護 運動場に使うな」となっている。淀川水系委員会はこ れから 20 年～30 年後の淀川の河川整備がどうあるべきかの検討する委員会であることがまる で理解していない記事だ。今にも河川公園の野球場や広場が市民から取り上げられると精華町、枚 方市の意見をとりあげている。少子化で少年野球も成り立たなくなっている。ゴルフ場もこの不 況で客が少なくなっている。それでも 20 年先、30 年先河川の生態系よりも排他的河川の利用が 大切なのか。排他的河川の利用を制限し河川の生態系を取り戻そうとする流域委員会の提言は水 質や生物多様性の回復のため当然の提言と言いたい。
363	関西のダムと水道を 考える会 野村東洋夫氏	03/04/11	「工業用水の大阪府営水道（上水道）への転用についてのご意見（N0.358）に対する大阪府水道 部からの回答」が寄せられました。 別紙 P.363-1 を参照下さい。
364	猪名川工事事務所	03/04/15	猪名川工事事務所より、委員長および庶務あての猪名川ラブリバー懇談会でいただいた代表的な ご意見が寄せられました。 別紙 P.364-1 を参照下さい。